

本展には、新潟県の伝統的工芸品13産地のうち9産地と、にいがた県央マイスターが参加します。

村上木彫堆朱

村上堆朱事業協同組合

〒958-0032 村上市松原町3丁目1-17
TEL 0254-53-1745
主な製造地：村上市
主な製品名：茶器、重箱、盆類等



19世紀初期、江戸づめの村上藩士が江戸で学んだ技術を伝えたことに始まる。朴・柎・桂などを用い、彫刻と漆を組み合わせた技法が特徴である。木地全体に彫刻をし、漆を塗り重ね、朱塗で仕上げたものが代表的な物である。

加茂桐箆笥

加茂箆笥協同組合

〒959-1313 加茂市幸町2丁目2-4
TEL 0256-52-0445
主な製造地：加茂市、田上町
主な製品名：桐箆笥



17世紀後半に桐箆笥の生産が始まる。国内産の良質の桐を用い、柎目を生かす製材、木釘と組接ぎ、やしゅぶし着色、ろうみがきなど、伝統の技術・技法により、桐材の特質を生かした総桐箆笥を生産している。

越後三条打刃物

越後三条鍛冶集団

〒955-0072 三条市元町11-53(三条鍛冶道場内)
TEL 0256-34-8080
主な製造地：三条市
主な製品名：庖丁、切出小刀、鉋、のみ、鉈、鎌、木鋏、やつとこ、和釘、鉞



万治元年(1658年)の万治検地帳に「鍛冶町」の町名記載があり、古くから鍛冶屋が集団で作業していたことが証明されている。その職人衆は一人の職人が全工程について一貫生産を行い、打刃物作りに必要な道具についても自身で製造し製品を造ってきた。全国的にみても稀有な地域であり、技術レベルにも自信を持っている。

小千谷縮・小千谷紬

小千谷織物同業協同組合

〒947-0028 小千谷市城内1丁目8-25
TEL 0258-83-2329
主な製造地：小千谷市、長岡市、十日町市
主な製品名：着尺地



小千谷縮：起源は古代からある越後布で、17世紀中ごろに現在の技法の原型が始まる。織った後、湯もみをして「シボ」と言われる独特のシワを出す。麻糸を使った夏着物地の代表的なものとして名高い。

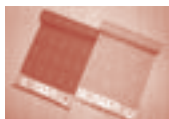
小千谷紬：小千谷縮の技法を生かして、18世紀に起源した。現在では小千谷縮を凌ぐ生産量となる。原料は玉糸と真綿の手紡糸で、絹独特の光沢と手ざわりの良さに加え、着ごちのいい気品の高い絹織物である。

小千谷縮・小千谷紬ともに、手摺りこみによる糸染め、柄合わせによる織りの伝統技法を使い生産している。

十日町緋・十日町明石ちぢみ

十日町織物工業協同組合

〒948-0003 十日町市本町6 クロス10 4F
TEL 025-757-9111
主な製造地：十日町市、津南町
主な製品名：着尺地(くぶり緋、摺り込み緋、緋織、縞織)



十日町緋：19世紀中期に起源する十日町緋は、緋技法の最も基本的な手づくり、手摺り込み技法により糸染めする。たて緋とよこ緋を併用し、繊細な緋模様を織り上げる。

十日町明石ちぢみ：19世紀初期に起源をおく十日町明石ちぢみは、八丁撚糸機によりよこ糸に強撚を加え、湯もみをして独特のしぼを作り出す。清涼感にあふれた薄地風が、その最大の特徴である。戦前に、夏着尺の代表製品として、一世を風靡した。

新潟・白根仏壇

新潟仏壇組合

〒950-0324 新潟市江南区酒屋町547-3(友坂仏壇店内)
TEL 025-280-2236

白根仏壇協同組合

〒950-1217 新潟市南区白根1240番地3(白根商工会内)
TEL 025-373-4181

主な製造地：新潟市 主な製品名：金仏壇



起源は元禄年間に京都から製造技術を取り入れたのが始まりとされ、古くから浄土真宗の信仰が盛んであったことが発展の因となった。原材料は姫小松、檜、朴などを用い、伝統技術による堅牢な仏壇を生産している。

三条仏壇

三条・燕・西蒲仏壇組合

〒959-1262 燕市水道町1-2-40(高三仏具店内)
TEL 0256-62-3756

主な製造地：三条市、燕市、新潟市
主な製品名：金仏壇



三条地方は「仏都三条」と言われ、元禄3年建立の東別院造営に参加した職人によって仏壇の製造から始められたと言われている。優れた銑金具製造技術には定評があり、伝統技術による仏壇を生産している。

長岡仏壇

長岡地域仏壇協同組合

〒940-2035 長岡市関原町5-5(南廣川仏壇店内)
TEL 0258-46-2210

主な製造地：長岡市、小千谷市、十日町市
主な製品名：金仏壇



長岡地方は古くから寺院が多く、これらの寺院の建立に従事した職人が、降雪期の内職として仏壇製造を始めたのが起源と言われ、江戸中期には産地が形成された。高度な彫刻技術と樺戸板のろいろ仕上げなどが特色とされる。

塩沢紬・本塩沢

塩沢織物工業協同組合

〒949-6435 南魚沼市目来田107-1
TEL 025-782-1127

主な製造地：南魚沼市
主な製品名：着尺地



塩沢紬：18世紀後半、麻織物である越後上布の技術、技法を絹織物に応用して始まる。生糸・玉糸・真綿の手紡糸を用い、手づくり等で緋模様をつけ、柄合わせして織る。蚊緋と呼ばれる独特の細かく典雅な模様で名高い。

本塩沢：17世紀中頃に起源する。緯糸に強い撚りをかけて出すしぼが特長の経緯緋の絹織物。「塩沢お召し」として名高い。手づくりによる糸染め、手作業による柄合わせの伝統技法を残し高級着尺として親しまれる。

にいがた県央マイスター

(お問い合わせ先)
新潟県三条地域振興局 企画振興部
〒955-0046 三条市興野1-13-45
TEL 0256-36-2205



新潟県三条地域振興局では、新潟県県央地域の高度熟練技能者を「にいがた県央マイスター」に認定し、その社会的認知度を高めるとともに、「ものづくり」の技術・技能を継承し地場産業の振興に貢献する活動を支援しています。